



# 子宮頸がんは予防できるがんです

もっと知って

長野県細胞検査士会は、今年10回目を迎える子宮頸がん予防啓発イベント「愛は子宮を救うin長野」を9月中旬、長野市の若里市民文化ホールで行いました。今年新型コロナウイルスの影響で、無観客でのディスカッションという形になりましたが、医療関係者や治療経験者などが、正しい知識や予防の方法について語りました。概要を紹介します。



治療経験者 赤羽 泉美さん (上伊那郡辰野町・ボサノバフルーツ農者)



細胞検査士 中村 恵美子さん (長野市・南長野医療センター篠ノ井総合病院)



産婦人科医師 山本 かおりさん (長野市・長野赤十字病院)

7年前、私はがんになる一歩手前、細胞の変化が検診で見つかり、削り取る手術を受けました。3泊4日、費用は5万円ちょっと。術後2週間仕事にも復帰できました。子宮頸がんの検診を受け始

子宮頸がんは移行していく細胞は比較的診断しやすく、がんになる手前で早期発見が可能です。また、がんの発生しやすい場所もわかっていて、医師が患者さんの子宮の入り口を直接見ながら、細胞を採取することが可能です。細胞検査士として日々仕事をする中で、20代前半やまれ

日本では年間約1万人が子宮頸がんにかかり、約2700人の方が亡くなっています。最近では20代から30代の若い女性に増えてきており、20歳から40歳の女性のがんのなかでも多いのも子宮頸がんです。子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が大きく関与しています。皮膚や粘膜に存在するありふれたウイルスで、性交渉の経験があればほとんどの女性が一度は感染します。感染しても90%の人は自分の免疫でウイルスを排除し、10%の人が持続感染により長い時間を掛けてがんになる

### がんになる前の段階で発見

めたのはまだ20代後半のころ。看護師さんのアドバイスを受ける機会があつて検診を受けることになりました。ウイルス感染は分かったのですが、細胞の変化はなく、2年に1回の検査と言われたので、2年後に検査したら、手術が必要なのところまで進行してしまいました。おそく進行の早いタイプのウイルスだったと思います。それでも、子宮も温存でき、今こうして仕事もできるのは検診を受けたから。早期発見が大事なので、ぜひ検診に行つてほしいと思います。

### 若い女性こそ検診を受けて

子宮頸がんは初期の段階ではほとんど症状がありません。不正出血などの症状が出たときはもうすでにがんが進行して子宮を残さなくなることが多く、もっと早くがんが見つかりたいと悔しい思いをします。一般にがんといえは中高年の方のもので思われがちですが、若い方こそ検診を受けていただきたいと思っています。

### 早期発見すれば、妊娠・出産も可能

子宮頸がんは進行が遅いため、継続的に検診を受けることで発見できます。初期ならば、手術で患部を削り取ることができ、妊娠・出産も可能です。進行すると子宮の全摘出が必要になり、妊娠・出産が望めなくなる方が全国に年間およそ1200人いるといわれています。結婚・初産年齢が高齢化していることにより、妊娠して初めて産婦人科を受診し、子宮頸がんが発見されるケースも増えています。女性にとつて子どもを授かるという一生で一番幸せなときにがんの告知を受けるのですから、そのつらさは想像を超えます。

20歳から30代前半の女性には、子宮頸がん検診の無料クーポンが配布されています。自治体による補助で安価に(長野市の場合1500円)検診を受けることができます。検診を受けることが子宮を守り、命を守ることに繋がります。

このディスカッションの様子は、インターネットで動画をご覧ください

ディスカッションには、信州大学工学部の男女学生、お笑いコンビのこころ(よしもと長野住みます芸人)も参加しました。男子学生は「子宮頸がんのワクチンが男性にも効くということを知って驚いた。こころの2人は「ワクチン接種が安全で有効という情報を『子宮を守り隊長』として広めていきたい」と話しました。

HPVを原因ウイルスとする子宮頸がんは、HPVワクチン接種すれば予防することができます。現在、ウイルスの二つの型に対応した2価のタイプ、四つの型に対応した4価のタイプのワクチンが使われ、子宮頸がんの約7割を防ぐとされています。2013年4月から法律に基づき定期接種が始まりました。当初は接種率が7割を超えていたのに、現在は1%未満になっています。接種後に現れたさまざまな症状について報道が過熱して、国が積極的な接種をお知らせすることを中止してしまつたからです。筋肉注射であるために痛みが強く出やすく、接種部位が腫れやすい傾向にあります。しかも接種対象は多感な思春期女子です。接種後にいろいろな症状が現れやすいため、もしも接種後にこのような大規模な疫学調査でこのワクチン特有のものではないことが分かっています。もし接種後にさまざまな

小児科医師 増田 英子さん (長野市・増田医院)

### ぜひ定期的な検診を

自分で守ろう、自分のからだ 子宮頸がんは「予防できるがん」

子宮頸がん検診を受けるには?

- 健康保険組合に加入の方 → 健康保険組合へ問い合わせ
- 国民健康保険に加入の方 → 自治体の保健所・保健センターへ問い合わせ ※お住まいの自治体によっては助成金制度が利用できます。

検診申し込み

【愛は子宮を救う in 長野】ホームページ [www.love49nagano.com/](http://www.love49nagano.com/) で県内の検診実施医療機関一覧を見ることができます!

### ワクチン接種で子宮頸がんは防げる

先進地のオーストラリアでは、近い将来、子宮頸がんがなくなる女性はいまほほほになる見込みです。子どもたちに女子も男子もワクチン接種する、成人女性はしっかりと子宮頸がんの検診を受けるから。そしてHPVが原因ウイルスである男性の陰茎がもも中咽頭がんも減っているのです。今年7月、国はウイルスの九つの型に対応した9価ワクチンを承認しました。また定期接種ではないので、10万円ほどの自費です。今後は、HPV感染によるがんを予防するために、男女ともに9価ワクチンの定期接種が実施されることを強く望んでいます。

主催/長野県細胞検査士会  
共催/信濃毎日新聞社・長野県臨床細胞学会・信州産婦人科連合会・長野県産婦人科医会・長野市産婦人科医会・いのちの応援会長野支部  
後援/厚生労働省・長野県・長野県教育委員会・長野市・長野市教育委員会・千曲市・千曲市教育委員会・松本市・上田市・小諸市・佐久市・岡谷市・伊那市・大町市・安曇野市・飯田市・(一社)長野県医師会・(一社)長野市医師会・(一社)上田市医師会・(一社)松本市医師会・(一社)長野県臨床検査技師会・(公社)長野県看護協会・(一社)長野県助産師会・(一社)長野市薬剤師会・(公財)長野県健康づくり事業団・(一財)全日本労働福祉協会長野県支部・日本赤十字社長野県支部・信州大学医学部附属病院・【北信地区プロ】多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン・長野赤十字病院・長野市市民病院・NHK長野放送局・SBC信越放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・abn長野朝日放送・FM長野  
特別協賛/相澤病院・オリオン機械株式会社・農事組合会510ファーム・長野県厚生農業協同組合連合会・ほりうちレディースクリニック・(公財)日母おぎやー献金基金  
運営協力/㈱共和コーポレーション

## 子宮頸がんは防げるガンと言われています。

### 検診による早期発見が重要です。検診は私たちまでご相談ください。

当院では、子宮、卵巣の病気の早期発見に役立つため、子宮頸がん細胞診と超音波検査を併用しています。お気軽にお問い合わせください。

諏訪中央病院  
ドック健診センター  
Dock Medical Examination Center  
〒391-8503 長野県茅野市玉川4300  
TEL. 0266-72-1000 <http://www.suwachuo.jp>

社会福祉法人 国際保健支援会  
南天診療所  
産婦人科・内科・皮膚科  
〒390-0821 松本市筑摩 3-15-31  
TEL.0263-29-1515 FAX.0263-29-0705

皮膚科・小児科 増田医院  
皮膚科医師 増田 光喜 小児科医師 増田 英子  
長野市早苗町34(市役所北300m) ☎026-233-3606

母体保護法指定医  
清水産婦人科医院  
長野市川中島町原 908-1 ☎026-219-3838  
休診日▶水曜(午後)・土曜日(午後)・日曜・祝日

医療法人慈恵会  
吉田病院 産婦人科・麻酔科  
理事・院長 花岡 立也  
長野市吉田2-1-26 TEL.026-241-5952

独立行政法人国立病院機構  
信州上田医療センター  
Shinshu Ueda Medical Center  
<https://shinshuueda.hosp.go.jp/index.html>  
・地域がん診療病院  
・地域周産期母子医療センター  
・地域医療支援病院  
・新生児集中治療室  
・緩和ケア病棟  
上田市緑が丘1丁目27番地21号 ☎0268-22-1890

佳み慣れた地域で安心と信頼の医療・介護・健康づくりを提供します。  
JA長野厚生連 (長野県厚生農業協同組合連合会)  
JA長野厚生連は地域のみなさまと共にあゆみます。  
長野市大字南長野北石室町1177番地3 ☎026-236-2305  
<http://www.nagano-kouseiren.jp/>

板倉レディースクリニック  
長野市稲里町中央1-12-12 TEL.026-291-0707

林産婦人科医院  
子宮頸がん検診承っております。お問い合わせはこちらまで  
TEL.026-241-5855  
長野市吉田2丁目3-27 予約はこちら

佐藤大史 Daishi Sato  
1985年東京都町田市生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。写真家白川義典の助手を経て、2013年独立。「我々すべてが属している地球」を伝えることを目的に、アラスカなどの手つかずの大自然とそこに生きる生き物を撮影している。日本の生き物と日本の魂をテーマにした撮影もスタートしている。2017 エアラン三好和義賞、SSP 会員、長野県安曇野市在住。  
好評発売中  
A4判変型 210×282mm 104ページ 定価 本体2600円+税  
お求めは書店、信販販売店へ。直送(送料)も承ります。  
信濃毎日新聞社出版部 〒380-8546 長野市南町657  
TEL.026-236-3377 FAX.026-236-3096

地球に生きている 地球の明日を想っている  
佐藤大史が切り撮る日常のアラスカ 待望の初作品集  
アラスカの原野はとても広い。無限と言えるほどに広い原野には、鳥国ニッポンで育った私の知るそれとは異なる時間が流れているようだ。(あとりより)